



越前町の新たな「まちづくり」に向けて

みなさんの知恵と力を
新たなまちづくりに。

現在、越前町総合振興計画の策定に向けて、審議会や役員内組織の策定委員会、専門部会を設け、計画作成作業を進めているところです。

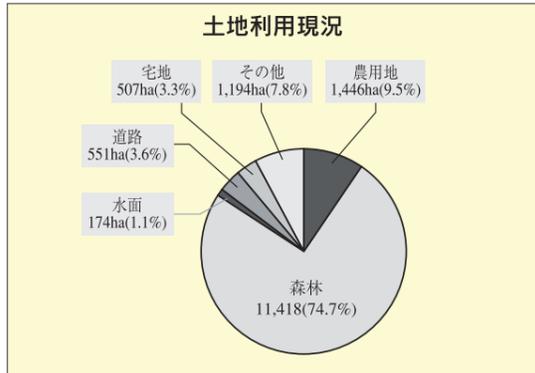
これからの地方自治体は、少子高齢化の急速な進行や産業の低迷など、大きな変革期を迎えた社会・経済環境への柔軟な対応が求められています。その一方で、国が進める三位一体改革など歳入の先行き不透明感が強まる中、地方分権が進み地域間競争が激しさを増しています。

このように地方自治体運営が一層厳しくなる中、個性豊かで誇りの持てるまちづくりを進めるためには、町民のみなさんの知恵と力が必要です。まちづくり町民アイデアコンペの実施によるアイデア募集や町広報誌での情報提供等により、「こんなまちづくりを進めたい」といったみなさんの意見を広くお聞きしながら、また、計画に盛り込みながら、参画と協働をキーワードとした、みなさんと共に実践していける計画作りを進めていきたいと考えています。

町の現状を知る。

今後のまちづくりを考えていく上で、町の現状を知り、認識することが大切になります。そこで今回は、主な統計数値により町の現状をお知らせします。

平均ばかりを求めるとはならず、何をどうすれば越前町固有の豊かさを実現していけるのかという観点から、魅力あるまちづくりを考えていくことが重要となります。



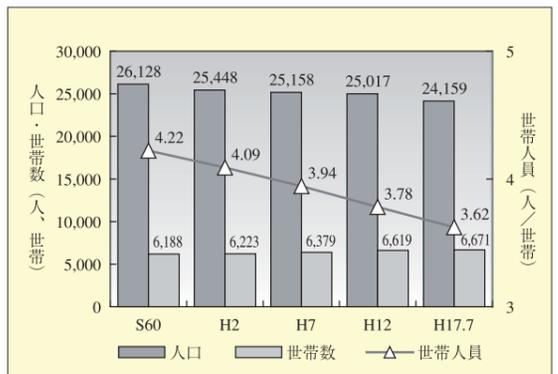
資料：H15福井県の土地利用と土地対策

【地勢】

本町は、福井県嶺北地方の西端に位置し、東西17.9km、南北17.3km、面積は152.9km²で、西は日本海に面し、東は鯖江市、南は越前市、南越前町、北は福井市、越前村、清水町にそれぞれ接しています。町の大半は丹生山地に属していることから、林野率は高く、耕地の割合は低くなっています。

【人口・世帯】

本町の人口は24,159人(平成17年7月現在、県人口推計値)で、平成12年までは緩やかな減少傾向で推移していましたが、近年、減少傾向が顕著になっており、全国的な人口減少社会の到来に伴う影響が懸念されます。世帯人員は一世帯当たり3.62人と県平均値(3.05人/世帯)を上回り、農山漁村集落を中心とした多世代家族が多くなっています。しかし、世帯数は微増傾向にあるものの世帯人員は減少しており、核家族化が進行しています。



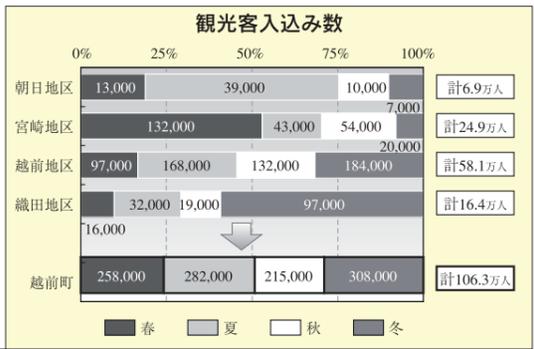
資料：国税調査・福井県人口推計



資料：国勢調査・福井県人口推計

【産業別就業割合】

産業構造は、第1次・第2次産業の就業割合が県平均値(第1次:4.7%、第2次:37.4%)より高く、地域特性を活かした農林水産業や越前焼に代表される伝統・地場産業が地域に息づいています。しかし、第1次・第2次産業の就業割合、就業人口ともに、年々、減少しています。



資料：H16福井県観光客数動態推計

【年齢別人口構成】

全国動向と同様に、少子・高齢化の進行がみられます。平成17年7月における年少人口(0~14歳)の割合は14.3%と県平均値(14.7%)を下回り、逆に老年人口(65歳以上)の割合は25.2%と県平均値(22.4%)を上回るなど、少子・高齢化は県平均に比べ急速に進行しています。



資料：国勢調査

【観光客入込み数】

越前がにや越前水仙をはじめとする多様な観光資源を有し、年間106万人(平成16年度)の観光客が訪れる県内有数の観光地となっています。また、地区ごとでは季節によりバラツキがみられる観光客数も、町全体では四季を通じて観光入り込みのある通年型観光地を形成しています。

越前町総合振興計画審議会委員紹介



野嶋 慎二さん
福井大学教授
審議会会長

豊かな生活を送ることができる地域社会の創造。

少時代に突入したとも言われ、多くの課題を抱えているのも事実です。このような魅力的な資源があってもこれを上手く活用し磨いていかなければ、これからは豊かな生活には結びつきません。総合振興計画は、豊かな生活を送ることができ、地域社会をつくるための柱となる計画です。特に、町村合併後の総合振興計画ですので、これからの越前町の道しるべとなる重要な計画です。

私は越前町に来ていつも思うのですが、越前町には越前海岸や緑豊かな山々あるいは里などの美しい自然環境があり、また越前焼をはじめとした独自の歴史や文化など様々な地域の資源があります。それは越前町のどこへ行っても同じというわけではなく、朝日地区、宮崎地区、越前地区、織田地区それぞれ独自の個性があります。それぞれ独自の文化や歴史、地形や自然環境があり、いろいろな顔を見せて楽しませてくれます。このような地域では住む人にとっても豊かな生活を送ることができる地域であると考えられますし、また訪れる人にとっても様々な発見や体験ができる魅力的な地域であると思います。

しかし、その一方で日本は人口減